

### <全体分析>

試験時間

90分

解答問題数

4題

#### 解答形式

全問 論述式。

#### 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加）

難易（易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化）

#### 出題の特徴

定理や一般的事実の証明が出題される（**1**、**4**）

#### その他トピックス（入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など）

考察し、論述する問題が出題される（**4**）

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
<b>1</b>	三角関数	数学Ⅱ	和積の公式の証明 $\cos 36^\circ$ および $\sin 6^\circ \sin 54^\circ \sin 66^\circ$ の値	やや易
<b>2</b>	整数 確率	数学A	不定方程式 反復試行の確率	標準
<b>3</b>	微分法 積分法	数学Ⅲ	媒介変数表示（サイクロイド） 面積	やや易
<b>4</b>	データの分析	数学Ⅰ	2つのデータの集まりの分析 箱ひげ図の利用，変数変換の利用	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

設問は段階的にあるいは誘導性をもって並んでいるため、最終目標を念頭におき各設問の役割を認識しながら解いていくとよいだろう。試験時間を考えると、問題文を正確かつ迅速に読み取ることが大切である。そのためにも、与えられた条件や前の設問をどのように利用するのかを的確に判断することが重要である。用語、定理・公式を正しく認識しておくこと、とりわけ定理・公式については証明にも注意を払っておくとよい。

また、証明問題に限らず論述力が欠かせない。論理的に考え、たどった筋道および問題解決までの要点を数式や図や言葉を利用して明確に描く練習をしておこう。